

中国・北京大学
留学報告書

学部学科・研究科専攻	情報通信学部情報通信学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	中華人民共和国	大学/機関	北京大学
期 間	2026年 8月 2日 ~ 2026年 8月 29日			
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。		計	1ヶ月

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 科目名：口语（会話中心）、汉语（文法中心）、中国文化を英語で教わる English Lecture、故宮や万里の長城を見学する文化体験ツアー

※口语と汉语はそれぞれ 50 分×2、基礎から高級まで4段階のレベル別クラスに分かれている。

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
口语 8:00~9:50	○	○	○	○	○		
汉语 10:10~12:00	○	○	○	○	○		
English Lecture 14:00~15:30				○			
文化体験ツアー 丸一日						○	

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

人数：14 名

国籍：日本4名、欧州（ポーランド、ロシア、ベルギー、フランス等）7名、南米2名、豪州1名

先生：汉语と口语でそれぞれ先生が異なる。English Lecture では北京大学の教授が担当。

授業方法：レベルが高いクラスほど先生が中国語で説明する割合が高く、逆に中国語に初めて触れる方が多い基礎クラスでは英語で説明される。また同じレベル内でも、例えば中級 A・B・C のように分かれているため、同じレベルでも課題や授業内容が若干異なる。

使用教材：授業で使用する教材は出発前に確認できる。その際、自分に合ったレベルを選択し、申請する。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

第1・2土曜日に行われる文化体験ツアーでは故宮、万里の長城を見学した。日曜には他大学から参加している学生と北京市内を観光したり、買い物をしたりした。また、有料オプションとして、第3週の週末には内モンゴル自治区へのツアーが用意されていた。乗馬やゲルでの宿泊を体験できる。私は参加しなかったため、西安へ旅行に行った。

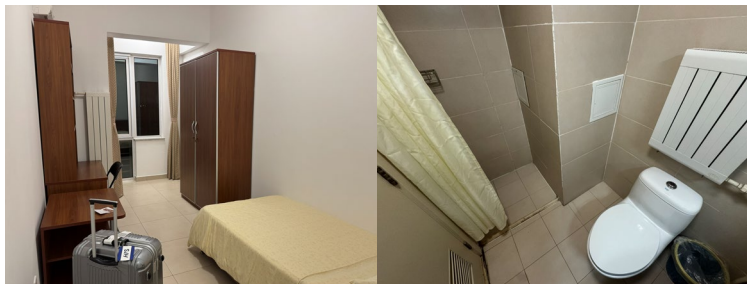
[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

キャンパス内に複数の食堂があり、食事に困ることはなかった。1食あたり400円程度。食堂によってメニューに違いがあり、日本料理やハンバーガーを提供する食堂があった。小さなモールがあり、カフェやキャリアショップが入っている。キャリアショップにて電話番号を入手することが可能。また、寮に立派なジムが併設されているため、友人を呼んで卓球やバドミントンを楽しんだ。

[5] 宿舍(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋：1部屋1人で使用

様子：大学の寮はキャンパスから徒歩5分と近く便利。コンビニやジム、宅配ボックス等の設備が整えられているため長期滞在に適した環境。事前の説明では水回りを2人で共有する部屋タイプだと聞いていたが、完全な1人部屋を割り当てられた。そのため、リラックスして1ヶ月過ごすことができた。しかし、あくまでも寮なので以下の物は備え付けられていなかった。そのため、校内のスーパーやモールでそろえる必要があった。タオル、トイレットペーパー、ドライヤー、シャンプー、洗剤、コップ、ハンガー等。ケトル、大容量の棚は備え付けられている。



到着時点の部屋の様子

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

勉強したいことを毎日勉強できる環境にいられることが嬉しく、そして楽しかった。勉強した文法や語彙を街中でうまく使うことができると達成感を感じた。外国のクラスメイトと自分の国を紹介しあったり、他大学からきた日本人学生と遊びに行ったりしたことは一生の思い出になった。さらに、奇跡的に小学校の同級生と8年ぶりに再会したことはとても驚いた。帰国後も食事をするなど交流を続けている。また、土日に北京市内を観光したことや、西安へ夜行列車で小旅行に行ったことは印象に残っている。

● 苦労したこと：

私のクラスは欧米人が多く、授業外では英語で交流する機会が多かった。そのため、伝え方に苦労することがあった。北京は他の都市よりも管理が厳しく、他の都市では必要のない中国の電話番号(必ず大学内のキャリアショップで購入することを推奨)を用いた実名認証や手荷物検査は少し息苦しさを感じた。裏を返せば、こうした制度のおかげで治安に不安を覚えることは全くなかった。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

東海大学で習った内容をもとに、現地で語学力をさらに身につけることができた。上から二番目のクラスに配属されたため、ついていけるか不安だったが、毎授業ごとの復習と予習をこなすことで効果的な学習につなげることができた。最終テストでは良い成績をとることができた。買い物の際に店員さんに質問したときや、タクシーの運転手さんと会話できたときはうれしかった。

2) 専門知識の向上：

週に一度開講される中国文化についての講義は中国を知る上で大変役に立った。週末の文化体験ツアーでは北京を代表する名所である故宮と万里の長城に行くことができ、中国文化を直に触れることができた。また、中国の歴史認識について興味があったため、抗日戦争記念館に赴いた。展示物の評価はともあれ、中国側の認識を確認することができた。以前は北京大学の文化体験ツアーに組み込まれていたそうだが、現在は外されている。

3) 自己成長など：

留学生という立場で滞在したことで、留学生ならではの悩みや直面する問題についても知ることができた。そのため、今後、日本に滞在する留学生と交流する際には、今回の経験を生かし、そうした悩みや問題にも気を配りながら接していきたい。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

最初の1週間は大変かもしれませんが2週目から段々と慣れて楽しさに変わります。お気に入りの食堂メニューを発見したり、友人と出かけたりすることで、とても楽しい思い出を作ることができます。

良い留学にするために準備は大変重要です。疑問点や説明に矛盾がある場合は必ず解消してから出発することをおすすめします。また、寮費の支払いについて現金推奨と説明を受けるかと思いますが、クレジットカード決済を推奨します。私たち3人中2人はカードで支払いました。必ず出発前にカード会社に「8月〇日に中国で10万円以上の高額な決済をするのですが不正利用ではありません」と連絡してください。連絡しなければ不正利用とみなされ、決済できない可能性があります。

また、市内で現金を使用する場面はありませんでした。唯一、学生証にチャージ（校内の食堂と売店は学生証決済のみ可）する際に現金を使用しますが、こちらもWeChat Payからチャージ可能です。内モンゴル自治区のツアーに参加する場合は乗馬体験等で現金が必要な場合があるようです。

さらに、WeChat、Alipay、DiDi（中国版）、百度地図、美团、大衆点評は必ずインストールすることをおすすめします。インターネットはTrip.comのeSIMが最安値でなおかつVPN付で良いです。別途、校内のキャリアショップ（中国移动）にて電話番号を取得すると博物館の予約や出前等が円滑に行えます。

留学に参加することは大きな決断で勇気が必要かもしれません。しかし、少しでも参加したい気持ちがあるのなら参加して後悔はないです！

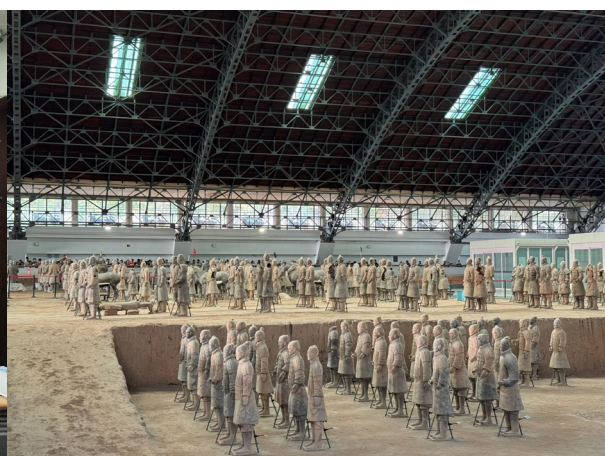
[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内 訳			金 額 (留学時の日本円)
1	旅行会社に 支払った費用総額	530,000	プログラム代	340,320
2			フライト代、燃料サーチャージ、 空港使用料等	189,680
3	滞在費（寮費・ホームステイ代など）			153,682
4	保険代			9,070
5	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）、個人的な買い物			118,386
6	留学に関する費用総額			811,138

[10] ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。（複数枚可）



クラス集合写真



西安の兵馬俑



西門で記念撮影



仲良くなった日本人学生たち